

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
自動車整備科											
シャシ整備実習 1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	80	単位	2
担当教員	和田浩、村木亮治、馬場俊介、非常勤講師			実務 経験	有	職種	一級自動車整備士、自動車整備士				
授業概要											
実習車両を使用して、ブレーキやサスペンションなどのシャシに関する整備技術を学びます。											
到達目標											
自動車のシャシ関係の基礎知識・基礎構造・基礎整備を身につけ、自動車整備の基本であるブレーキ装置やタイヤ・ホイールの点検整備を正確に行えるようになること、ブレーキ装置や動力伝達装置及びタイヤ・ホイールの点検整備を通じて正しい工具の取り扱いを身に付けること、実習を通じてチームワークを学び協調性を身に付けることにより、安全で正確な点検整備作業が出来るようになることを目標とする。											
授業方法											
自動車のシャシ関係の整備実習を通して、共同作業を行うことでチームワークを学び、自ら効率よく作業することを繰り返し練習することで主体性を持って学べるようになることを目指す。結果として、自動車の基本的なシャシ構造理解し、ブレーキ装置及び、タイヤ・ホイールの点検整備が出来るようになる。事前学習、復習をしっかりと行い、安全で正確な点検整備作業を身につける。											
成績評価方法											
試験を総合的に評価（100％）											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。また出席確認時に遅刻の場合4時間の欠席となる。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。実習車、実習教材など。											
回数	授業計画										
第1回	タイヤ・ローテーション及びリフト操作（グループワーク）：リフト操作を理解し、タイヤ・ローテーションが出来るようになる										
第2回	ブレーキ整備作業（グループワーク）：実車を用いて実践的なブレーキ装置の整備技術を身につける										
第3回	サスペンション及びディファレンシャルについて①（グループワーク）：実車を用いて自動車のサスペンションやディファレンシャルの整備が出来るようになる										

2024年度 日本工学院八王子専門学校	
自動車整備科	
シャシ整備実習 1	
第4回	サスペンション及びディファレンシャルについて②（グループワーク）：実車を用いて自動車のサスペンションやディファレンシャルの整備が出来るようになる
第5回	法定12か月点検①（グループワーク）：法定12か月点検の点検内容を理解する
第6回	法定12か月点検②（グループワーク）：法定12か月点検の作業手順を理解する
第7回	法定12か月点検③（グループワーク）：法定12か月点検の作業手順を身につける
第8回	法定12か月点検④（グループワーク）：法定12か月点検の点検作業が出来るようになる
第9回	ブレーキ装置整備演習（グループワーク）：様々な自動車のブレーキ装置の点検整備技術を身につける
第10回	総合整備作業（グループワーク）：リフト操作からタイヤの脱着までの一連の作業が出来るようになる